

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年1月23日(2014.1.23)

【公表番号】特表2012-521599(P2012-521599A)

【公表日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-037

【出願番号】特願2012-502006(P2012-502006)

【国際特許分類】

G 06 F 13/00 (2006.01)

G 06 F 21/56 (2013.01)

【F I】

G 06 F 13/00 5 4 0 E

G 06 F 21/00 1 5 6 K

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月27日(2013.11.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

フィッシング疑惑ウェブサイトを識別するための方法であって、

プロセッサを用いて、識別対象ウェブサイトのアドレスを取得することと、

前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスにしたがって、前記識別対象ウェブサイトが保護ウェブサイトでも既知のフィッシングウェブサイトでもないと判定することと、

前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスに正規表現を照合することによって、フィッシング疑惑ウェブサイトルールを適用することと、前記正規表現は1または複数の保護対象ウェブサイトのキーワードおよび前記1または複数のキーワードの変形を記述し、

前記フィッシング疑惑ウェブサイトルールを適用することは、

前記アドレスからホストのユニフォーム・リソース・ロケータ情報を抽出することと

、前記ホストの前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報の中に少なくとも1つの干渉文字があるか否かを判定することと、前記少なくとも1つの干渉文字はフィッシングウェブサイトに関連付けられている可能性のある記号を含み、

前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報の中に少なくとも1つの干渉文字がある場合に、前記ホストの前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報から前記少なくとも1つの干渉文字を削除することにより前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報を修正し、修正された前記ホストの前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報と前記正規表現との比較を実施することと、

前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報の中に干渉文字が無い場合に、前記ホストの前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報と前記正規表現との比較を実施することと、を含み、

前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスと前記正規表現との間の前記照合が成功すると、前記識別対象ウェブサイトをフィッシング疑惑ウェブサイトであると判定することと、

、を備える方法。

【請求項2】

請求項 1 に記載の方法であって、
前記正規表現は、第 2 の正規表現であり、
前記識別対象ウェブサイトのアドレスを取得することは、
事前設定された第 1 の正規表現を使用して、文字列をユニフォーム・リソース・ロケータ（URL）の特徴に基づいて照合することと、
前記照合の結果に基づいて、前記識別対象ウェブサイトのアドレスを取得することと
、
を備える、方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の方法であって、
取得された文字列及び／又はテキストが、ユニフォーム・リソース・ロケータ（URL）情報を含んでいる場合には、前記文字列及び／又はテキストから前記識別対象ウェブサイトのアドレスを直接取得する、方法。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の方法であって、
前記干渉文字は、下線、ハイフン、スペース、又はコンマの 1 つ又は複数を含む、方法。
。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の方法であって、
前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスにしたがって、前記識別対象ウェブサイトが保護ウェブサイトでも既知のフィッシングウェブサイトでもないと判定することは、

前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスが保護ウェブサイトのデータベースに含まれているかどうかを判定することと、
前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスが既知のフィッシングウェブサイトのデータベースに含まれているかどうかを判定することと、
を備える、方法。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の方法であって、更に、
前記識別対象ウェブサイトがフィッシング疑惑ウェブサイトであることをユーザに知らることを備える方法。

【請求項 7】

フィッシング疑惑ウェブサイトを識別するためのシステムであって、
1 つ又は複数のプロセッサであって、
識別対象ウェブサイトのアドレスを取得し、
前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスにしたがって、前記識別対象ウェブサイトが保護ウェブサイトでも既知のフィッシングウェブサイトでもないと判定し、
前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスに正規表現を照合することによって、フィッシング疑惑ウェブサイトルールを適用し、前記正規表現は 1 または複数の保護対象ウェブサイトのキーワードおよび前記 1 または複数のキーワードの変形を記述し、
前記フィッシング疑惑ウェブサイトルールを適用することは、
前記アドレスからホストのユニフォーム・リソース・ロケータ情報を抽出することと、

前記ホストの前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報の中に少なくとも 1 つの干渉文字があるか否かを判定することと、前記少なくとも 1 つの干渉文字はフィッシングウェブサイトに関連付けられている可能性のある記号を含み、

前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報の中に少なくとも 1 つの干渉文字がある場合に、前記ホストの前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報から前記少なくとも 1 つの干渉文字を削除することにより前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報を修正し、修正された前記ホストの前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報と前記正規表現との比較を実施することと、

前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報の中に干渉文字が無い場合に、前記ホストの前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報と前記正規表現との比較を実施することと、を含み、

前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスと前記正規表現との間の前記照合が成功した場合に、前記識別対象ウェブサイトをフィッシング疑惑ウェブサイトであると判定するよう、

構成された 1 つ又は複数のプロセッサと、

前記 1 つ又は複数のプロセッサに命令を提供するために、前記 1 つ又は複数のプロセッサに結合された 1 つ又は複数のメモリと、

を備えるシステム。

【請求項 8】

請求項7に記載のシステムであって、

前記正規表現は、第 2 の正規表現であり、

前記識別対象ウェブサイトのアドレスを取得することは、

事前設定された第 1 の正規表現を使用して、文字列をユニフォーム・リソース・ロケータ（URL）の特徴に基づいて照合することと、

前記照合の結果に基づいて、前記識別対象ウェブサイトのアドレスを取得することと、

を備える、システム。

【請求項 9】

請求項7に記載のシステムであって、

取得された文字列及び / 又はテキストが、ユニフォーム・リソース・ロケータ（URL）情報を含んでいる場合には、前記文字列及び / 又はテキストから前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスを直接取得する、システム。

【請求項 10】

請求項7に記載のシステムであって、

前記干渉文字は、下線、ハイフン、スペース、又はコンマの 1 つ又は複数を含む、システム。

【請求項 11】

請求項7に記載のシステムであって、

前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスにしたがって、前記識別対象ウェブサイトが保護ウェブサイトでも既知のフィッシングウェブサイトでもないと判定することは、

前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスが保護ウェブサイトのデータベースに含まれているかどうかを判定することと、

前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスが既知のフィッシングウェブサイトのデータベースに含まれているかどうかを判定することと、

を備える、システム。

【請求項 12】

請求項7に記載のシステムであって、

前記 1 つ又は複数のプロセッサは、更に、前記識別対象ウェブサイトがフィッシング疑惑ウェブサイトであることをユーザに知らせるように構成される、システム。

【請求項 13】

フィッシング疑惑ウェブサイトを識別するためのコンピュータプログラムであって、

識別対象ウェブサイトのアドレスを取得するための機能と、

前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスにしたがって、前記識別対象ウェブサイトが保護ウェブサイトでも既知のフィッシングウェブサイトでもないと判定するための機能と、

前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスに正規表現を照合することによって、フィッシング疑惑ウェブサイトルールを適用するための機能と、前記正規表現は 1 または複数の保護対象ウェブサイトのキーワードおよび前記 1 または複数のキーワードの変形を記述し

前記フィッシング疑惑ウェブサイトルールを適用するための機能は、

前記アドレスからホストのユニフォーム・リソース・ロケータ情報を抽出するための機能と、

前記ホストの前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報の中に少なくとも1つの干渉文字があるか否かを判定するための機能と、前記少なくとも1つの干渉文字はフィッシングウェブサイトに関連付けられている可能性のある記号を含み、

前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報の中に少なくとも1つの干渉文字がある場合に、前記ホストの前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報から前記少なくとも1つの干渉文字を削除することにより前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報を修正し、修正された前記ホストの前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報と前記正規表現との比較を実施するための機能と、

前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報の中に干渉文字が無い場合に、前記ホストの前記ユニフォーム・リソース・ロケータ情報と前記正規表現との比較を実施するための機能と、を含み、

前記識別対象ウェブサイトの前記アドレスと前記正規表現との間の前記照合が成功した場合に、前記識別対象ウェブサイトをフィッシング疑惑ウェブサイトであると判定するための機能と、

をコンピュータによって実現させるコンピュータプログラム。